

2026年10月01日
株式会社さくらさくみらい

日常の「遊び」の中で、子どもの主体性と豊かな育ちを支える ～さくらさくみらい、全89園に小型・軽量の折りたたみ式平均台を導入～

「子ども・保護者・職員」三者の笑顔に満ちた子育て環境の創出を目的に、東京を中心に保育園運営を行う株式会社さくらさくみらい（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森田 周平、以下「当社」）は、運営する保育所「さくらさくみらい」全89園に、有限会社さわだスポーツクラブ（本社：東京都練馬区、代表取締役：澤田 幸男）の取締役社長・澤田 康德氏が監修した『折りたたみ式平均台』を導入いたしました。

今回の『折りたたみ式平均台』の導入は、子どもたちの基礎的な運動能力を育むとともに、身体を動かす楽しさや「やってみたい」という意欲を高めることを目指しています。また、軽量かつコンパクトなため、日常的に取り入れやすく、天候や環境に左右されず活用することができます。子どもたちにとっても保育従事者にとっても遊びの選択肢を広げ、より豊かな育ちと保育の実践につなげてまいります。



■「遊び」から健やかな育ちを支える環境づくり

当社では、子どもの主体性を重んじ、遊びの中から楽しく学びが身につく、独自の乳幼児教育プログラム『CLiP（Children Learn in Play）』を展開しています。その一環として、幼児運動指導の専門家と共同開発したプログラム『うんどうあそび』を全園の3～5歳児クラスで導入し、子どもたちが楽しみながら身体を動かす機会を提供してきました。幼児期に楽しみながら身体を動かし多様な動きを経験することは、健やかな成長や将来の運動習慣形成に繋がることから、近年その重要性や環境整備の必要性が改めて注目されています。（※1）

今回の『折りたたみ式平均台』の導入は、こうした背景を踏まえた取り組みであり、遊びの中で子どもたちの身体を動かす機会を広げたり、身体を動かす楽しさや「やってみたい」という気持ちを育んだりすることを目指しています。また、軽量かつ折りたたみ式で取り扱いが容易なため、子どもたちが主体的に遊びに活用できるだけでなく、保育従事者にとっても気軽に日常に取り入れやすくなっています。

気温や天気の影響で屋外での活動が難しい日でも、日常的な運動遊びを継続でき、室内での遊びの幅を広げます。

※1. 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト（令和7年度）

■ 『折りたたみ式平均台』の特長

1. 基礎的な運動能力を育む

「体のバランスをとる動き」「体を移動する動き」（※2）を、日常の遊びの中で自然に経験できます。平均台を渡る・またぐ・くぐるなど、年齢や発達に合わせた多様な身体の使い方を楽しめます。

※2. 参考 文部科学省『幼児期運動指針』

2. 日々の保育に取り入れやすい設計

床から約6cmの低床設計と柔らかな素材を採用しています。全長2mながら1本約750gの軽量・折りたたみ式で、準備・片付けや保管、持ち運びが容易なため、日々の保育に取り入れやすく、室内遊びの幅を広げます。

3. 外遊びが難しい日や限られたスペースでも、運動機会を確保

暑さ指数（WBGT）の上昇や雨天などにより屋外活動が難しい日や、都市部の園に多い、限られた遊び場でも十分に身体を動かすことができ、日常の運動経験を継続可能です。



■ 現場の声

導入した園からは、次のような声が寄せられました。

- 近年、暑さ指数の影響で外へ出られない日が多くなりました。しかし、この平均台があると、外遊びができない日も日常の保育にすぐに取り入れられ、室内遊びの幅が広がりました。
- 身体を動かす遊びというと走ったり跳んだりするイメージがありましたが、平均台はバランスを取る・集中するなど、これまでの運動とは違った身体の使い方ができました。橋に見立てたり、バランスを保ちながら立ったり座ったりと自由な発想で遊んでいて、平均台一つで遊び方がどんどん広がります。
- 大型遊具は準備や片付け、安全面の配慮が必要ですが、この平均台は軽くて場所も取らず、大人一人でもすぐに準備できます。



■ 監修者コメント

幼児期のバランスあそび（平均台）は、姿勢を保つ力や体幹、足の力を育てるだけでなく、自分の身体の動きに気づき、状況に合わせて調整する力を養います。大切なのは、上手にできることよりも、「グラグラする」「止まる」「立て直す」といった多様な動きを楽しむこと。遊びの中で積み重ねる経験が、走る・跳ぶ・投げるなど、さまざまな運動の土台につながります。

有限会社さわだスポーツクラブ 取締役社長 澤田 康德氏

■ 代表コメント

当社では、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを尊重し、遊びの中から学んでいくことを大切にしています。

平均台は体幹やバランス感覚等を養います。今回当社で導入した平均台は、軽量であることもあり、子どもたちが主体的に自らの遊びの中に取り込むことも可能になっています。

近年は暑さにより外遊びができない日も多くなりましたが、外に出られない日にも、子どもたちの育ちを促し、また遊びの選択肢を広げることに寄与します。

代表取締役社長 森田 周平

■ 会社概要

会 社 名：株式会社 さくらさくみらい

（株式会社 さくらさくプラス[証券コード：7097]グループ会社）

代 表 者：代表取締役社長 森田 周平

設 立：2009年8月3日

資 本 金：93,004,900円(資本準備金43,000,000円)

本社所在地：東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル

企 業 URL：https://www.sakura-39.jp/

事 業 内 容：保育所(さくらさくみらい)の運営 ※事業所数：東京/千葉/埼玉/大阪に89園（2026年7月末現在）

株式会社さくらさくみらいの親会社、株式会社さくらさくプラスでは、働く子育て世帯がより子育てをしやすい社会を目指し「共働き家族・子育て家族を応援する事業」を数多く展開しています。

お問い合わせ先

株式会社さくらさくみらい PR担当

TEL：03-6457-9539 ／ MAIL：pr@sakura-39.jp